

濡れ縁施工案内

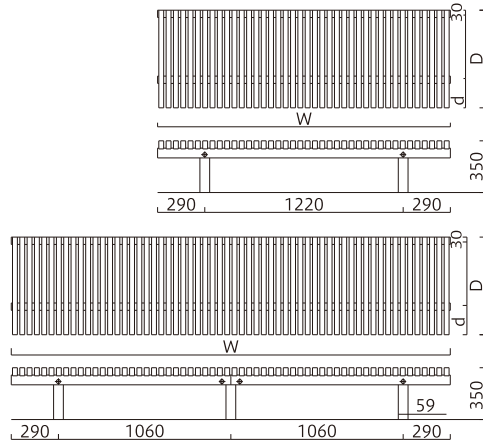
濡れ縁 Nureen



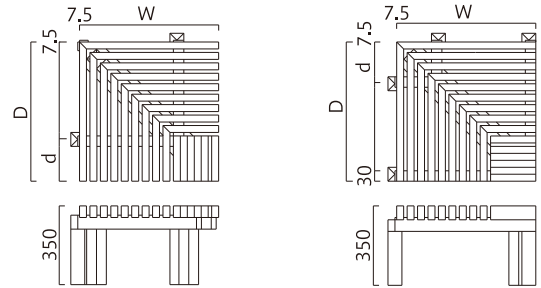
濡れ縁施工方法

■商品ページ→P131

■ 桧



■ 出隅・入隅

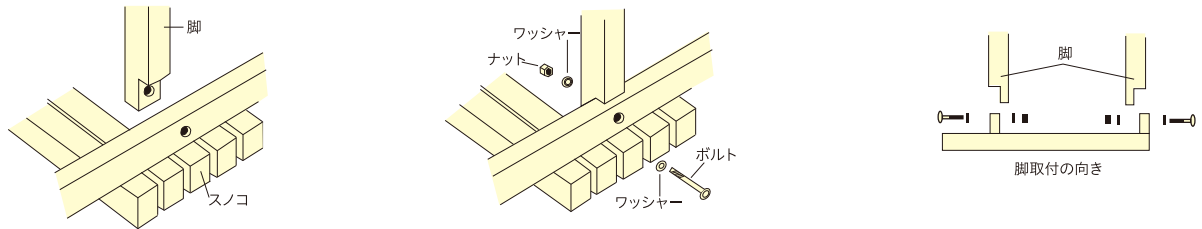


品番	W	D	d
N※-60S	1800mm	450mm	138mm
N※-60M	1800mm	600mm	173mm
N※-60L	1800mm	900mm	248mm
N※-90S	2700mm	450mm	138mm
N※-90M	2700mm	600mm	173mm
N※-90L	2700mm	900mm	248mm

品番	W	D	d
H※-DS	450mm	450mm	138mm
H※-DM	600mm	600mm	173mm
H※-DL	900mm	900mm	248mm
H※-ES	450mm	450mm	138mm
H※-EM	600mm	600mm	173mm
H※-EL	900mm	900mm	248mm

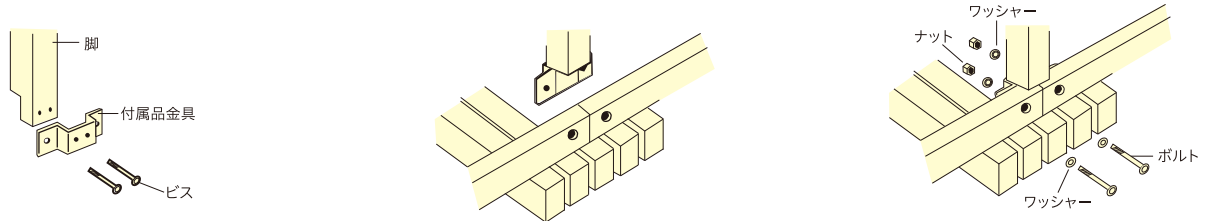
■ 脚の取付

スノコは組み立ててありますから、脚を取り付ければ完了です。(逆さにすると楽に作業を行うことができます。) 脚の取り付けはボルトを商品の外側から入れ、付属品のナット・ワッシャーでしっかりと固定してください。脚の下部には、コンクリート製束石を置きます。(犬走りがある場合は必要ありません。)



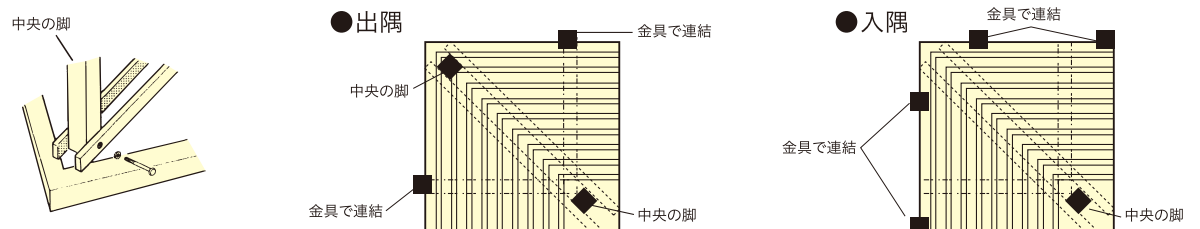
■ 9尺タイプ中央脚の取付

幅9尺タイプの商品は分割されているため、中央部の脚の取り付けと連結には、付属品の金具・ビス・ボルト・ナット・ワッシャーを使います。脚に金具を付属品のビス(φ3.8mm×L38.0mm)で固定してください。金具を取り付けた脚を、桁の内側に商品の外側からボルトを入れ、ナット・ワッシャーでしっかりと固定します。



■ 出隅・入隅の取付

出隅・入隅の商品は、中央の脚は付属品のボルト・ナット・ワッシャーでしっかりと固定してください。その他の脚の取り付けは、幅9尺タイプの商品と同様に脚に金具を付属品のビスで固定してください。隣り合う商品との連結は、金具を取り付けた脚を桁の内側にして付属品のビスでしっかりと固定してください。



濡れ縁／軒天デザインボード施工案内

濡れ縁

Nureen

軒天井

Nokiten Design Board



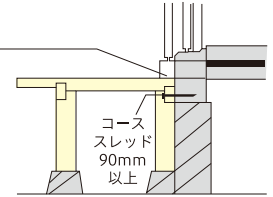
土台や基礎への据え付けは、450mm間隔に3寸釘を打ち込んで固定します。
(据付面がコンクリート、モルタルの場合は、コンクリート釘を使用してください。)
多少、前方へ傾斜する様に取り付けてください。

(別途品)

3寸スクリーニング釘(φ3,8mm×L90,0mm)と同等品

幅6尺の場合は5本、幅9尺の場合は8本

サッシ(水切り)下面と
濡れ縁甲板とのスキマを
なくして施工してください。



使用上の注意と日頃のメンテナンス

1. 木部は全て天然木を使用しておりますので、寸法に多少の誤差・形状変化が発生する場合があります。
また、天然木のため多少色調が異なる場合があります。
2. 天然木を使用しておりますので、多少の収縮が発生する場合があります。脚のぐらつきが生じた場合は、定期的にボルト・ナットを閉めてください。
3. 甲板先端に必要以上の力を加えますと、商品が変形したり破損する場合がありますのでご注意ください。
4. 商品を乱暴に取り扱わないでください。
5. 日頃のメンテナンスは、柔らかい、乾いた布でカラ拭きしてください。特に汚れの酷い場合は、中性洗剤を水で薄め、堅く絞った雑巾で拭いてください。
6. 塗装品オイルステインは塗装面に損傷しましたら、ホコリ・ゴミを取り除き、下記の油性浸透性木材塗料で塗装してください。
塗料は大谷塗料(株)「VATON FX」パイン=#507 ブラウン=#517 メープル=#507、#517、#521と同等品をご使用ください。
7. 日焼け防止クリアーは、塗装面の塗膜剥離が生じたら、サンドペーパーで塗装面をフラットにし、ホコリ・ゴミを取り除き、下記の塗料で塗装してください。
日焼け防止クリアー塗料は、玄々化学工業(株)製「GC-20 ユートンエクステリア ハイグロス」と同等品をご使用ください。

軒天デザインボード施工方法 ■商品ページ→P140

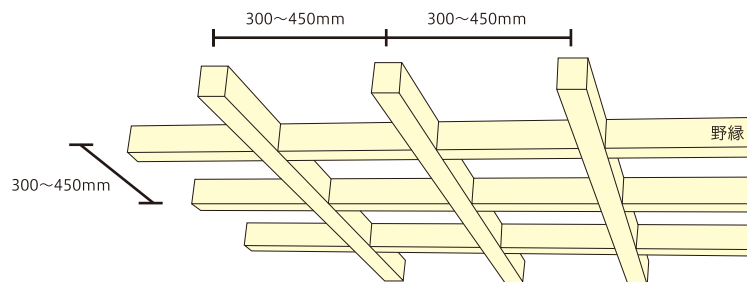
現場調達：真鍮釘またはステンレス釘(錆びない物)長さ25mm程度で、釘頭が目立たない物
木工用ボンド

1. 施工場所

この商品は、軒天にご使用ください。直接風雨が当たる場所(外壁・戸袋・雨戸)及び浴室への使用はできません。

2. 施工場所

下地材はよく乾燥させ、反り・狂いが発生しないような材をご使用ください。
また、下地野縁の間隔は、長さ方向に対し、300mm～450mm間隔で取り付けてください。



※野地板へ直接貼ると、釘穴に沿って屋根からの水分が軒天に入り、染み・変色の原因になる事がありますので避けてください。

3. 仮並べ

ご使用になる全製品を仮並べまたは仕分けをしてください。

4. 下地への固定

施工する場合は、必ず釘と接着剤を併用して取り付けてください。

